

## 箱根の雨

### 箱根ビジターセンター

箱根は、雨がとても多いところです。年間3,000ミリを越す雨量は、東京・横浜の二倍近い値です。どうしてこんなに雨が降るのでしょう？それは、箱根山が相模湾や駿河湾のすぐ近くにあって、海岸線に近いところから標高1,438メートルの神山まで、わずかな距離で一気に高くなっているからです。太平洋上の湿気を多く含んだ空気が、箱根山に沿って急上昇すると気温の低下に伴って水蒸気が水滴となり、やがて霧や雲、そして雨となるわけです。

この多量の雨は、芦ノ湖・早川・仙石原湿原などの多様な自然環境を保ち、豊かな緑と多くの生き物を育てています。また、その一部は清水や温泉となって観光地箱根を支えています。

梅雨の晴れ間、ビジターセンターから望む山肌は、まるで濃い緑色のキャンパスにヤマボウシの花の白色の絵の具を点々と落としたような美しい景色に様変わりしています。遠くから聞こえてくるエゾハルゼミの合唱をBGMに一幅の絵画を眺めているようなそんな気分になってきます。

梅雨時こそ「箱根の雨」の恩恵を実感できる一番良い季節かもしれません。（石原）



ヤマボウシの花（苞）で所々白くなった箱根のクマさん（冠ヶ岳）

### 【イベント案内】

#### 秦野ビジターセンター

##### ◆企画展「いのち はぐくむ丹沢～その自然とくらし～」

内 容：丹沢の自然と人との関わりについて、丹沢資料保存会所蔵の貴重な写真や文献をとおしてご紹介します。（展示作成：丹沢資料保存会）

期 間：平成29年5月13日（土）～7月9日（日）

場 所：秦野ビジターセンター 展示室

※入館無料 開館中はいつでもご覧いただけます。

開館時間：9:00～16:30

#### 箱根ビジターセンター

##### ◆三二観察会（事前申込み不要 10名以上の団体は要連絡）

内 容：箱根パークボランティアによるビジターセンター周辺の案内です。旬な植物や動物を丁寧に解説、ご案内いたします。のんびり歩くので、体力に自信のない方でも、初めての方でもお気軽に楽しめます。

開 催：毎月第2・4 金曜日

時 間：10:00～12:00頃まで

集 合：箱根ビジターセンター

##### ◆四季観察会（事前申込み不要 10名以上の団体は要連絡）

内 容：ビジターセンター周辺の「今一番楽しめる自然」を五感を使って楽しめます。その日によって内容は多種多様に変わり、個性あふれるスタッフが約1時間程度ご案内します。どんな観察会になるかは参加してのお楽しみ・・・♪

開 催：毎月第2・4 日曜日

時 間：午前の部 10:00～11:00 午後の部 14:00～15:00

集 合：箱根ビジターセンター

### 自然公園へでかけよう



#### 環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164

Tel 0460-84-9981

<http://www.mm.jp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

#### 県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513

Tel 0463-87-9300

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

#### 県立西丹沢ビジターセンター

（旧西丹沢自然教室）

〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9

Tel 0465-78-3940 Fax 0465-78-3940

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまでお問合せください。

# 緑溢れる丹沢に 秦野ビジターセンター



満開のゴヨウツツジと富士山(2016年5月18日)

※2016年は花付がとても良い年でした。今年はどうでしょうか。



丹沢山天王寺尾根分岐付近の緑溢れる森

山々を柔らかな新緑が上りきり、少しずつ緑濃い深緑の季節に移り変わっていきます。降り注ぐ日差しは活き活きと葉を伸ばし、次々と多種多様な花を咲かせる森を美しく照らし出します。

一年で一番命溢れる季節、山登りの気持ちの良い季節がやってきました！緑輝かせる森、キラキラと光る花、絶景の山々。年によって新緑の進み具合、花付も毎年異なる植物たちが作り出す景色です。だからこそ見られるものもきっとあるでしょう。沢山の生き物も活発に動き始めるからこそその瞬間にも数多く出会える気がします。

今年はどうなる景色、どんな輝きを見せてくれるのでしょうか。皆さんに「登ってきたよかった」と思える出会いが訪れますように。(谷脇)



キラキラ輝く花卉のツリバナ

## 「登山記録証」を配布しています！ 西丹沢ビジターセンター



「登山記録証」ご自身の登山記録を書き込んでいきましょう。

今年度から西丹沢ビジターセンターへ名前が変わりました。登山者をはじめ、皆様の来館をお待ちしています。

4月から始める「登山記録証」の取り組みを紹介します。登った山頂やルートに印をつけて、自分の丹沢登山を記録するものです。記入してみると、自分がよく行くエリアがわかり、登っていない山に気付きます。身近にある丹沢も、なかなか全部は歩いていないものです。それぞれの山に魅力や特徴があるので、かつて歩いた記憶を思い出したり、次の山行計画に役立てたりしてください。



これまでに登った山をふりかえります。

表紙は、宇宙から見た「<sup>ちゅうかんず</sup>宙瞰図」です。海底火山として生まれた丹沢と伊豆半島は、フィリピン海プレートの動きとともに本州にくっついたことが、宙瞰図で見るとわかります。

登山記録証は、西丹沢ビジターセンターと秦野ビジターセンターにお越しいただいた方にお渡ししています。西丹沢ビジターセンターでは、その日に登った山とルートを記入した人に確認用のハンコを用意しています。

これから本格的な丹沢の登山シーズンが始まります。登山の前にはぜひビジターセンターへお立ち寄りください。(倉持)